

みやぎのミライに

挑む!

Challenge

薬剤師

職種概要

食品取扱施設などの監視、廃棄物の適正処理、公害などの規制指導をはじめ、薬局や医薬品販売業の許認可、麻薬・覚せい剤の指導取締りなどを行います。

主な勤務課所 本庁各課／環境政策課、環境対策課、食と暮らしの安全推進課、循環型社会推進課、薬務課 など
地方機関／保健福祉事務所、保健環境センター など



身近な「食」に関わる

あらゆる問題解決に挑む

安全な食品が流通していることを確認するため、食品衛生法で定められた基準に基づき行う流通食品の放射性物質検査計画の策定、検査結果の公表等を行っています。日頃から、自分が担当している業務がどのような形で県民に貢献できるのかを考えながら、仕事するよう心掛けています。食に関する問題は身近なものも多く、皆さんの関心も高いので、安心して安全な食品を食べていただけるよう、検査等の計画を立てたり、現状の問題点を見つけることは非常にやりがいがあります。また、獣医師や農芸化学職など、様々な職種の方と協力して仕事をするので、薬剤師としても人としても大きく成長できていると感じています。

環境生活部 食と暮らしの安全推進課 食品安全班

高橋 彩乃 (令和元年度採用)

主な経歴

令和元年度～ 現職

私のチャレンジポイント

今後、多様な分野の業務を担当するに当たり、人との縁を大切に、柔軟な発想力とチャレンジ精神を持って取り組みたいです。

Question 01 宮城県の薬剤師を選んだ理由は？

入庁する前は調剤薬局勤務でしたが、薬剤師の専門知識を生かした業務だけでなく、食品衛生、環境保全、試験検査など幅広い業務を経験し、スキルアップしたいと考えて志望しました。

Question 02 仕事で印象に残るエピソードは？

製薬衛生師試験に関する業務では、試験実施に向けた各種調整、当日運営、合格発表まで終了ときに達成感を感じます。合格した方に免許証をお渡しするときの、うれしそうな顔も印象的です。

Question 03 宮城県職員を目指そうとしている方にメッセージをお願いします

薬学だけでなく幅広い分野で、県全体に向けた取組ができるスケールの大きさは公務員薬剤師ならではのです。より良い宮城をつくるため、あなたの知識を宮城県庁で生かしてみませんか？

SCHEDULE ある1日のスケジュール



令和3年3月現在

